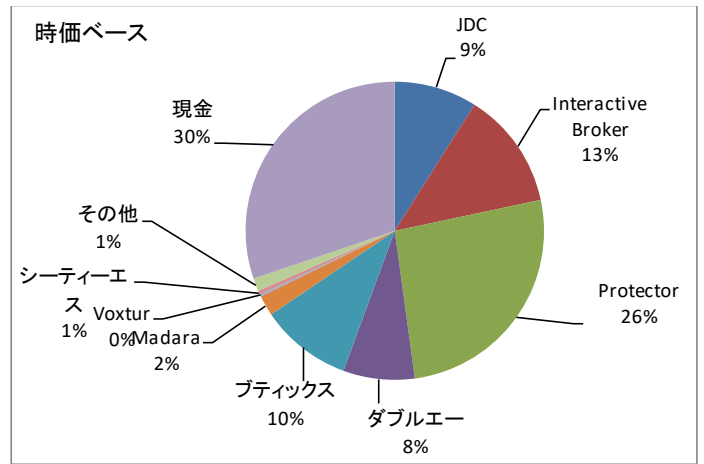
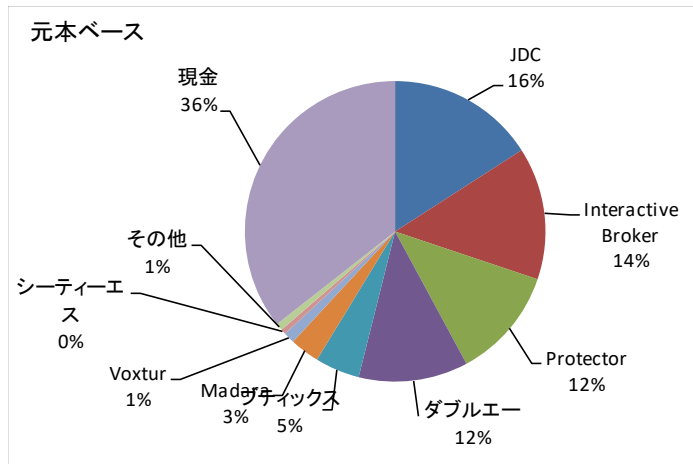
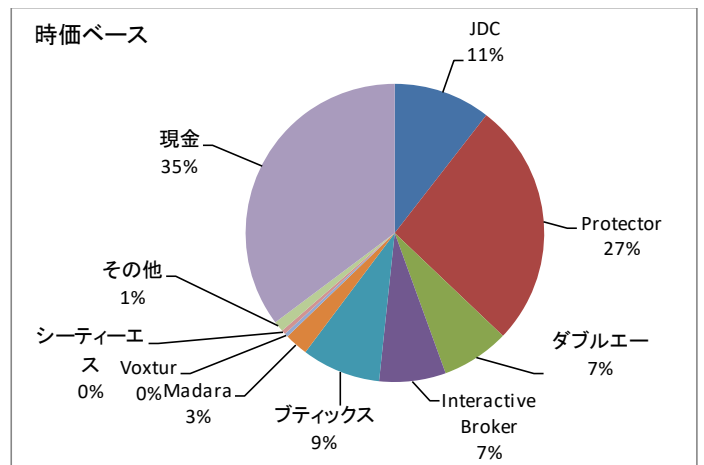
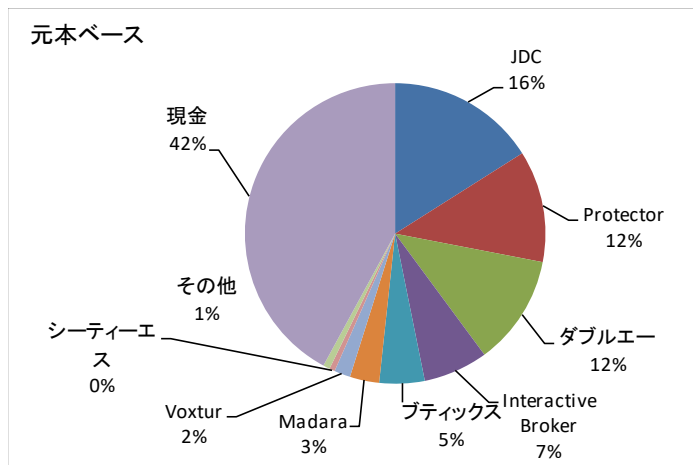


2022年11月末のポジション報告をお送りします。



比較のため、10月末のポートフォリオは以下の通りです。



保有銘柄詳細 (元本ベース順)

銘柄コード	会社名	事業	本社	取得単価	元本ベース比率	時価	時価ベース比率	3年後 価値 予想	対時価	年利 換算	今月の取引
	JDC	保険プラットフォームドイツ		25	16%	16	9%	58	272%	55%	追加購入
	Interactive Broker	オンライン証券	アメリカ	78	14%	80	13%	155	93%	25%	
	Protector	損害保険	ノルウェー	51.87	12%	120.80	26%	199	65%	18%	
7683	ダブルエー	靴小売	日本	3,173	12%	2,556	8%	4,906	92%	24%	
9272	ブティックス	展示会	日本	1,292	5%	3,265	10%	4,532	39%	12%	一部売却
	Madara	化粧品	ラトビア	21	3%	16	2%	17	4%	1%	
	Voxtur Analytics	不動産テック	カナダ	1.46	1%	0.28	0%				
4345	シーティーエス	建設IT	日本	814	1%	835	0%	1,467	76%	21%	
	その他				1%		1%				
	現金				36%		30%				

日本に一時帰国して感じたこと

1 1月初旬より日本に2ヵ月の予定で一時帰国しています。気付いたことを書いてみました。

1, セルフ支払いレジが増えた

セブンイレブンなど、セルフ支払いレジが増えたと感じます。増え続ける支払い手段を口頭で聞かれることもなく、顧客がタッチ選択。現金も電車の切符販売機のように客が投入しておつりが自動で出ることで、店員の決済手間が減るようです。スーパーでも、商品のバーコードスキャンまでは店員さん、支払いは別のセルフ支払いシステムという例を見ました。商品のバーコードスキャンまで客が行う完全セルフレジはハードルが高いが、支払いをセルフ化することはハードルが低いようです。カナダはフルセルフレジが一般的です。

2, 支払い手段が多い

カナダの生活でほぼ現金を使うことがありませんが、非現金支払い手段はクレジットカード一択です。クレジットカード発行会社（銀行や小売店）が様々なポイント還元（マイルージ、キャッシュバック）を競っています。中国系の顧客が多い店はアリペイやウィーチャットペイそれに比べて日本では、クレジットカードに加えて交通系（スイカ、パスモ）、アプリ系（ペイペイ、楽天ペイ）。数が多くてクラクラしてきます。なぜ日本はこんなに選択肢が多いのでしょうか？寡占化が進みやすい決済分野ですが、日本は独自路線を行っている気がします。この複雑化による副次的効果は？決済端末が高く売れる？決済企業が儲かる？店舗は電子マネーの決済手数料がクレジットカード以下なので助かる？比較することで、色々疑問が浮かびます。

3, 授業員が多い

空港に着陸してまず思うのは、従業員が多いということです。今回はワクチン証明検査があるのでなおさらですが、誘導するだけの人がたくさんいました。銀行や役所では入口でお辞儀をする人、「今日はどうされましたか」と聞く人。ひとしきり説明すると、「〇番カウンターにどうぞ」、と言われて、カウンターでまた同じ説明をするので、利便性は特に上がっていないと感じます。ニュースで人手不足と言っている割には、多くの従業員を使っている印象を受けます。先日宮崎に行ったのですが、主要国道の草刈りをしている方々いました。仮払い機のエンジン音で車が来ているかどうか聞こえにくいのは分かりますが、車が通ることを知らせる笛を吹くだけの方が立っていて驚きました。場所によっては、仮払い機を扱う人1にたいして笛を吹く人1。この費用対効果はどうなっているのでしょうか？コーンでも置いておけばいいのではないのでしょうか？トロントでは交通誘導や安全確認のために人を割いている場面にはほぼ出会いません。企業が余剰人員を抱えるのは株主でない限りは企業の勝手と思えますが、税金で行われていることに関しては笑えません。高齢者の雇用対策ということでしょうか？

4, 自治体による差が意外とある

これまで、日本で各地に住んでも特に自治体の差を感じて来ませんでした。鈍感だっただけかもしれませんが、健康診断や子供向け手当など細かい違いはあるのですが、大差はないイメージ。どこに住んでも行政サービスは同じじゃない？というスタンスでした。こうした均質性、つまりは誰が首長になっても大差ないというイメージが、低い選挙投票率にも表れているのかもしれませんが。今回、日本への一時帰国にあたって、住民票を戻して一時的に行政サービスを受けたいと思いました。カナダ出国前にしか加入できない長期滞在用旅行保険に加入し忘れてしまい、医療保険に入りたかったのです。調べてみると、練馬区は一時帰国者による住民登録は禁止。もし後日判明した場合、国民健康保険の自治体負担部分を請求しますとあります。一方の北区は

全く同じ問い合わせをして、一時帰国者による住民登録可能。これほど同じことに対して対応が違う例をあまり知らないの、驚きました。なんでも横並びだと決めつけてきましたが、意外と特色があるのかもしれない。もっと違いに注意して見ていきたいと思えます。

5, 名刺交換

せっかく日本にいるので、積極的に対面企業取材をお願いしています。冒頭で行われうるのは、名刺交換。まず、入館前に手の消毒を要求するのに名刺交換はするの、という疑問があります。さらに、カナダの運用会社に勤めて1年以上になりますが、これまで名刺を渡されたこともありませんし、名刺交換をしたこともありません。そもそも名刺を持っていません。欧州企業の経営陣がトロントオフィスを訪問してくれることがありますが、握手はしますが名刺交換はありません。10年前はまだ名刺交換していた気がするの、いつ欧米で名刺交換がなくなったのか、興味があります。これもペーパーレス、SDGの流れの一環でしょうか？今回、日本出張のためにわざわざ名刺を作ってもらいました。となると、日本企業からも名刺交換の文化が徐々になくなるのでしょうか？

6, オンラインミーティングと対面ミーティング

これは日本についてではないのですが、久しぶりに多数の対面ミーティングをこなして感じたことです。初めの数回、対面ミーティングはとても疲れました。移動時間往復2時間+ミーティング1時間。移動時間、電車代がもったいないが勿体ないことはもちろん、階段の上り下りが多いので慣れていないと肉体的に疲れます。意外だったのは、対面ミーティングは情報量が多くて疲れるということです。相手の服装、仕草、テーブルの様子などオンラインでは見えなかった情報がとにかく多いです。負荷をかけてでも対面ミーティングをしないと、面倒くさくなってますますオンラインに傾斜する懸念があります。対面ミーティングできる集中力を維持できるかどうか、差が出てくるような気がしました。

買い物リスト

先日、買った銘柄を事後報告されるのも良いが、そもそもどの銘柄がいくらになったら買い時かを知りたいというリクエストを頂きました。今回のシンメンテのように毎月1銘柄ほど日本の優良銘柄を紹介して、3年後の目標株価とともにシェアしたいなと思えます。皆様に有益なレポートにしていきたいので、リクエストがあれば教えてください。

紹介	銘柄	株価	株価	時価総額	創業	社長	生年	年齢	保有	3年後適正株価	企業理念			
	紹介時	11/30	10億		年			比率	上幅					
7683	ダブルエー	2020年09月	3,370	2,556	12	2002	20	肖俊偉	1972	50	66%	4,600	80%	いつでも想像以上に満足のできる商品・サービスを提供します。
9272	ブティックス	2020年10月	856	3,265	17	2006	16	新村祐三	1966	56	54%	4,289	31%	マッチング・ファースト
4345	C T S	2022年07月	820	835	36	1972	50	横島泰蔵	1960	62	38%	1,376	65%	全国の建設現場の課題を、身近なサービスで解決する
6086	シンメンテ	2022年08月	1,384	1,287	87	1999	23	内藤秀雄	1943	79	22%	2,000	55%	
4489	ペイロール	2022年09月	703	828	75	1989	33	湯浅哲哉	1958	64	4%	1,560	88%	お客様に気持ちよくサービスを受けていただく
	Interactive Brokers	2022年10月	80.15	80.30	34	1978	44					166	107%	Create technology to provide liquidity on better terms. Compete on price, speed, size, diversity of global products and advanced trading tools.

質問コーナー&オンライン説明会

毎月一方的にレポートをお送りしていますが、何か質問があればメールしてください。次の月次レポートまでには回答します。また、半期に1度、6・12月末にオンライン説明会を開催しようと思えます。投資関連のことも何でも意見交換できれば嬉しいです。ご都合よければご参加ください。

長友 2022年12月3日@東京 1月上旬まで帰国しています。お会いできれば幸いです。

月次リターン(税引前)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年次
2014(概算)													23%
2015(概算)													19%
2016	0.0%	0.0%	1.0%	-0.4%	1.5%	4.1%	1.1%	-2.7%	1.3%	4.9%	6.7%	6.3%	26%
2017	-2.8%	2.9%	13.5%	-9.6%	-1.6%	5.6%	1.7%	9.5%	11.0%	2.2%	11.5%	-2.9%	46%
2018	16.0%	-10.7%	3.5%	0.8%	-1.3%	-0.3%	1.5%	7.0%	5.5%	-6.3%	3.7%	-10.0%	6%
2019	5.9%	6.7%	-1.9%	1.7%	1.2%	0.6%	5.8%	0.6%	0.8%	7.7%	3.4%	5.9%	45%
2020	0.0%	-5.8%	-10.6%	7.9%	3.3%	4.5%	-3.0%	5.8%	2.9%	3.2%	2.9%	0.5%	11%
2021	4.2%	5.5%	9.5%	6.2%	-0.7%	0.6%	2.1%	-0.4%	-1.9%	10.9%	-11.6%	2.5%	28%
2022	-11.9%	-2.5%	7.7%	-0.9%	-5.2%	-3.2%	1.7%	1.7%	-5.0%	9.9%	-3.6%		-12%

年次リターン(税引前)

	ポートフォリオ	配当込TOPIX	TOPIX	配当込SP500	SP500
2014(概算)	23%	10%	8%	14%	11%
2015(概算)	19%	12%	10%	1%	-1%
2016	26%	0%	-2%	12%	10%
2017	46%	22%	20%	22%	19%
2018	6%	-16%	-18%	-4%	-6%
2019	45%	18%	15%	32%	29%
2020	11%	7%	5%	18%	16%
2021	28%	13%	10%	29%	27%
2022	-12%		0%		-14%
累計	416%	82%	52%	201%	121%
年率換算	21%	8%	5%	15%	10%
過去3年(年率)	27%	13%	10%	26%	24%
過去5年(年率)	26%	8%	6%	18%	16%

税引前基準価額推移(Dec. 2013 = 100)

